

第2回門真市立テニスコート及び門真市立青少年運動広場
指定管理者候補者選定委員会会議録

- 1、開催日時 平成26年9月11日（木）午後3時00分から午後6時10分まで
- 2、開催場所 門真市役所本館2階 大会議室
- 3、出席者 （委員）野際委員長、佐藤副委員長、井出委員、船越委員、山田委員
（事務局）丹路スポーツ振興課長、十河スポーツ振興課長補佐
喜納スポーツ振興課主任
- 4、内 容 開会、審査方法説明、プレゼンテーション審査、休憩（集計）
審査結果の報告、総合評価、閉会
- 5、傍聴定員 なし（非公開のため）
- 6、担当部署 （担当課名）生涯学習部 スポーツ振興課
（電 話）06-6902-7195
- 7、会 議 録

【事務局】

開会に先立ちまして、お手元の資料の確認をさせていただきます。

まず、議事次第でございます。

資料1「第2回選定委員会予定表」でございます。

資料2「第2次審査評価個表（案）」でございます。

資料3「第1次審査結果報告」でございます。

本日、委員5人中5人が出席されておりますので、この会議は成立していることを報告いたします。それでは、この後の議事運営を委員長にお願いしたいと存じます。委員長よろしくお願いたします。

【委員長】

それでは、第2回門真市立テニスコート及び門真市立青少年運動広場指定管理者候補者選定委員会を開会します。

それでは、第2次審査の方法などについて、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

第2次審査の方法などについて事務局よりご説明します。資料1、第2回選定委員会予定表をご覧ください。本日はプレゼンテーション審査である第2次審査を行っていただいたのち、第1次審査、第2次審査を合わせた得点を参考に、指定管理者候補者を決定する総合評価を行っていただきます。第2次審査は申請書類を本市に提出し

た、株式会社東大阪スタジアム、かどまSSKグループ、奥アンツーカ株式会社の順にプレゼンテーションの審査を行います。

次に、資料2、第2次審査評価個表案をご覧ください。プレゼンテーション審査では、申請団体から、施設事業計画に関するプレゼンテーションを15分以内で行っていただきます。その後、各委員から所定の質問を行っていただき、残った時間を自由に質問できる時間といたします。配点は表のとおりとし、右の覧に採点を整数で記載していただきますようお願いいたします。一人当たりの満点は100点とし、一団体あたりの満点は5人の委員を合わせた500点といたします。審査の前に「第2次審査評価個表」をお一人につき3枚配布いたします。回収は全ての申請団体が終わった後に行います。全ての団体のプレゼンテーション審査が終了しましたら、得点の集計を行うため、休憩をお取りいただきます。集計結果が出ましたら、第1次審査の得点と第2次審査の得点の合計を参考として、指定管理者の候補者を選定いただくための総合評価を行っていただきます。

なお、第1次審査の得点は、資料3「第1次審査結果報告」のとおりです。以上の提案をご承認いただきましたら、記入用の「第2次審査評価個表」をお配りします。

また、本市では、団体の役員等に本市の市長または議員が加わっていないか、団体の構成員に暴力団員または暴力団員と密接な関係を有する者はいないかという2点について事務局より審査の前に確認をさせていただきますのであらかじめご了承くださいようお願い申し上げます。

以上で、第2次審査の方法などについて説明を終わります。

【委員長】

今、事務局から第2次審査の説明をいただきましたけども、何かご意見ご質問がございましたらお願いしたいのですけども、よろしいですか。

(異議なしの声あり)

【委員長】

それでは、プレゼンテーション審査をはじめます。

《株式会社東大阪スタジアム 入室》

【事務局】

それでは、審査の前に2点確認をさせていただきます。貴団体の役員等に本市の市長または議員が加わっていませんか。

【株式会社東大阪スタジアム】

ございません。

【事務局】

次に、貴団体の構成員に暴力団員または暴力団員と密接な関係を有する者はいませんか。

【株式会社東大阪スタジアム】

ございません。

【事務局】

それでは、これからプレゼンテーション審査を始めます。はじめに、15分以内でプレゼンテーションを行ってください。終了1分前にベルを鳴らします。15分後に、タイマーが鳴りましたら直ちにプレゼンテーションを終了してください。その後、委員からの質問を行いますので簡潔明瞭にお答えください。

なお、審査で発言された内容はすべて記録され、貴団体が指定管理者として施設の管理運営をしていただくにあたり遵守すべき事項となりますのでご承知おきください。それでは、プレゼンテーションを始めてください。

《株式会社東大阪スタジアム プレゼンテーション》

(門真市情報公開条例第6条第2号の規定により不開示)

【委員長】

ありがとうございます。今から質疑応答に入ります。時間が限られており、委員も5名いますので1問につき3分程度で簡潔に回答をお願いしたいと思います。

【委員長】

質問1 最初に、私の方から質問をさせていただきます。プレゼンの中で、自主事業のことをかなり強調されていたわけですが、なさろうとしている自主事業を資料で全部確認させていただいたのですが、どのぐらいの規模、人的なものです、人を集める、今それを先ほどのプレゼンの中にこういう形でこうするのだというお話ございましたけれども、もう少し具体的に、どのような形で集めるのか、あるいは来られた方に対して限られた場所の中で、どのような形で教室を運営するのか、テニスコートの中、あるいはグラウンドの中だけでなく、外の部分も含めてですね。そのあたりで何か構想をお持ちでしたらお答えください。

【株式会社東大阪スタジアム】

答えさせていただきます。まずは現状、テニスコートをご利用の市民の方がおられると思います。そちらの方をまずは第一に優先的に考えております。まずは、今の利用状況を調べさせていただく形になるのですが、空き時間がございます。いただいた資料の方から、平日の昼間の時間帯がかなり利用者が減っているというのが顕著に出ているのですが、おそらく土日の方は結構埋まっている状態なので、その空いている時間帯に、教室をあてていこうという形を考えております。その時間帯に対して集まれる人、やはり時間が限られてくるので、主婦もしくは高齢者の方とか、年齢が限られてくる。あとは夕方にかけて、お子様も集まることができるので、そういった方を対象に、教室の開校をしていこうと考えております。先ほども申し上げました、マップマーケティングソフトを使いまして広報を作成していくわけなのですが、これを私どもが毎年年間4回以上ですね、施設ごと、すべての施設とかなりの金額の広報を出しているのですが、広告宣伝費を設けさせていただいていません。そこからチラシでの新聞広告また広報かどま等、あとはインターネットを通じて募集していきたいと考えております。おそらく想定できる場所なんですけれども、利用者が増えていったときに、問題なのが多分駐車場の問題とかも当然出てくるとお思いますので、それは利用者の方に、近隣の駐車場をご利用いただくとか、公共機関をご利用くださいとの案内と共に、そこは、優先順位で早く来られた方にご利用いただいて、スタッフから利用者の方に、今いっぱいなのでこちらの方を利用くださいという案内をさせるような形で、極力たくさんの方にご利用いただくというふうに考えております。

【委員】

質問2 質問させていただきます。テニスコートについてはおそらく、今お話ししたように、テニスをしたい方が集まるのは分かります。その隣の運動広場なのですが、ご提案いただいているのは、ノルディックウォーク、陸上、サッカー、野球ですが、バックネットがついていますのでおそらく野球とソフトボール、これが現利用者のほとんどだと思います。ここでなぜ、ノルディックウォーク、サッカー、陸上なのかということですね。これを生涯スポーツは何なんだというのをどう理解しているから、この種目のスポーツを選んだんですよという形でお答えください。

【株式会社東大阪スタジアム】

現状、ソフトボール、野球と言った当然、野球場なので、使われる方が来られると思います。その方だけの利用歴、利用率がまだちょっと足りないとか、まだ余裕があるので基本、野球をされる方の人口はもう限られているかなというのもございます。生涯スポーツと言いますと、私ども施設の方ですね、行っているのが、屋

内に水泳、フットサルもあります。体操もございます。フィットネスもございます。エアロビクスとかいろいろございます。そう言ったことでいくとやはり、生涯スポーツを考えると年齢を重ねていっても、いつまでも続けられる種目をたくさんの中からお選びいただけるような運営を考えております。先ほど言いましたノルディックウォークというのは、ウォーキングの中でも、膝に不安をお抱えの方は、ストックを持った形で膝の負担を軽減した形でできるものなので、当然ノルディックではなくウォーキングでも何でもいいわけなのですけども、一番底辺の方、体力弱者といえますか、低体力者の方でもできるよという種目なので、今回提案させていただいた次第になっております。ですが、今言ったサッカーも子供さんもできます。大人の方になってくると、ウォーキングがいつでもできる、誰でもできる、一人でもできると言ったことで選ばせていただいております。

【委員】

質問 補足で聞きたいのですが、ご提案いただいているのは、年間3回もしくは、4回を3日間程度ずっとですね。それで生涯スポーツと言えるとということによろしいですか。

【株式会社東大阪スタジアム】

まずは定着の方です。ウォーキングするのは、そこでないとできないと言うわけではなくて、今いわゆる運動されている方もいると思います。ただ、今家に座ってテレビを見ている方もいると思うんですけど、一番掘り起こしたいのは、そういった方たちで、今いる中で何をしたいのか分からない人を運動する気持ちにさせる、やはり定着させるまで、私ども施設の方で約6ヶ月間、最初運動を始める6ヶ月間が大切だと言われております。その部分をどれだけのフォローができるかなんですけども、やはり導入の段階でいきなり、ここから20回しますとか、10回しますって限るよりも、回数が少ない方が参加しやすいんですね。1回参加してやってみたいなって感じたとか、次またこの機会にするために運動を自分でできるようにしていただくと、また来たときに続けるという形で、当然それが定着してきたら、テニスコートでも定期的な教室の開校も可能ですし、そう言った形では考えさせていただいております。

【委員】

質問3 収支計画書について、お聞きしたいのですが、この収支計画を5年間作っていただいていますけれども、自主事業で大体5年間に200万ほどの利益がでる形になっていきますけれども、全体では、5年間収支がゼロなんです。とんとんということは、自主事業がうまくいくかいかないかで、この計画全体が崩れかねないというそんな状況で掲げられているのですけれども、自主事業がうまくいかないことをあ

まり想定されてないと思いますけれども、もし、万が一うまく行かなかったときの対処方法を考えられているかどうか、あるいは、逆にうまく行って上振れた時に、その利益どういうふうにするか、案があれば教えていただきたいと思います。

【株式会社東大阪スタジアム】

答えさせていただきます。まず自主事業の収入なんですけれども、こちらの方は私どもができるであろうという予測のもとで出させていただいた金額になっております。これだけを集めようと思うとやはり、人的な費用もかかってきます。広告宣伝費も当然かかってきます。あと備品に関しても、当然費用がかかってきますので、この自主事業収入を得るための費用です。そういった形でここに書いている一般管理費のところがいわゆる、本社からの補填と言うか、いろいろ組み立てるのにかかってくる費用にもなって来ると思うのですが、その辺のところでは費用を抑えるところを、例えば集まりが悪かった場合は、今回費用を抑えながらしていくかたち、逆に儲かった、たくさん儲かったなという場合は、この施設をご利用される方に喜んでいただけるような環境整備を考えております。例えば、クラブハウスとかお部屋に来ていただいて楽しんで、今はっきりこれと言って出ないのですが、これもあったらいいなという、アンケート等でお伺いしながら、それを準備できるものは準備させていただいた方がいいのではないかと考えております。

【委員】

質問4 今回の指定管理の申請を出されるに当たって、当然施設はご覧になったかと思っておりますけれども、もう施設ができてから約16年経ったことでかなり痛みが出てきている。今後、その施設を管理運営していくに当たって、施設管理面での基本的な考え方であるとか、あるいは、既にこういうところをチェックして、早期にこういうところから取りかかるという具体的なプランがあればお聞かせください。

【株式会社東大阪スタジアム】

施設を見させていただいた率直な意見を言います。すごくきれいな感じでした。他施設というか、他市でも、管理させていただいているんですけども、まだきれいな方だと思います。私どもが、普段管理運営させていただくときに、まず大切に考えるのは、利用者の方がどう感じるかを大切にさせていただいております。まず自分が使ってみて、不具合のあるところ、例えばネットのたるみが大きくなってきている、締めるけど弱いとか、その部分がちゃんとできているか、ワイヤーのささくれがあるとか、あと野球場の方でいくと、ベンチのイスのところは割れていないか、細かいところは実際自分で試してみた上で、探していくというか、見つけたらすぐに修繕していくと。それでまず発見した場合は、業者に頼まないといけないところ

は当然頼みますけど、例えばすぐできるところ、ケガするということがあれば自分たちで修繕を行っております。見つけた場合は、すぐに修繕、すぐに業者に手配をして完全な修繕ができる形でやっていくというふうになっております。現状、中に入って使っていないのでどこが悪いというようなことは、今判らないのですが、そのような形で指定管理を考えております。あとは、定期的に半年に1回するところもあれば、3カ月に1回、使用頻度に応じてチェックをしながら、故障するとか劣化が激しいところの交換、これだったら来年の4月ぐらいに変えなければならないという予算を考えながら実施していきます。

【委員】

質問5 スポーツ基本法が改正されて、市町村では、総合型地域スポーツクラブこちらの方に支援するようになっておりますけれども、門真市では、門真はすねクラブというのが活躍しています。この門真の総合型地域スポーツクラブとの連携について、どういうふうに考えておられるのか教えていただきたいです。

【株式会社東大阪スタジアム】

総合型地域スポーツクラブといいますと、ちょうど申請書にも書かせていただいている実績の中に、名張市の総合体育館こちらの方がございまして、こちらの総合型地域クラブが、ナバスポでございまして、こちらの方とは連携させていただいているわけなのですが、こちらの方に例えますと、もともと総合型地域スポーツクラブが行われていたスポーツがございまして、私どもが、そのあと指定管理者に入ったときにこちらの方が行っている形のをそのまま継続的にしていただくというところで、ご満足されている以外の足りないところを私どものノウハウを追加してさらにすべてが盛り上がるというか市民が喜んでいただけるものを提供していきたいと考えております。当然、私どもの行う教室の中に体育に関係する指導者等が門真市におられたら、ぜひこちらの方から協力してくださいという形をお願いしたいところでございませう。

【委員長】

質問6 この企画書の中に、職員さんの話しが書いてあるわけなのですが、当然ここで勤務していただく方に研修をされると、その一部書いてございますけど、その研修の中でのセールスポイントは何ですか。御社の方でやられるその研修でここが一番、勤務する職員に対する研修で重要なポイントはどのようにお考えですか。

【株式会社東大阪スタジアム】

概要の方にもございますけれども、弊社の一番の教育のセールスポイントというの

がホスタリアンですね。HOSグループというグループでやっておりますので、その中でスタッフは3つのことを重視してお客様をおもてなししましょうということで取り組んでおります。その行動規範の方が、知らない人のためのホスタリアン、2番目にピエロになれるホスタリアンで、3番目が相手はどう思うかを大切にすると、この3点というのがやはり通常から私ども業務を行う中で相手の方がどう考えてこられるのかというのがやはり一番重要なところで、こちらからの一方的な押し付けとかそういうものに絶対ならないようにというところの精神をまずこちらで働いていただくスタッフの皆さんには、きっちりとですね植込んでいただいて、その上で個人情報研修であったりとか、そういったところに取り組んでいければと思います。

【委員】

質問7 先ほどのプレゼンの中でも、省エネ環境問題等、おっしゃられていたのですが、本庁の方でもPPS電力を最近使わせてもらっているのですが、貴社の方では、PPSについてどう考えておられますか。

【株式会社東大阪スタジアム】

PPSということば、勉強不足で理解できてないですけど、省エネということばでいきますと、弊社の方で取り組んでいるのは、当然電気、水道、ガスを出るだけ少なく使う。ただ一方で、利用される方が不便に感じるレベルでは本末転倒になりますので、具体的に通年で取り組んでいる内容を申し上げますと、まずほかの管理施設の方であった例なのですけども、水道メーターは毎日取っています。取っていた中で休館日にもまだ水が動いていることがあったということで、前管理者の半年ぐらい前からずっと結果が続いていたのですけども、管理に入って、4月から5月のときに発見しまして、どこが漏れているかわからないということで調査しまして、6月15日に工事完了して止めることができたという点と、あと、電気代の方も同じく電気をずっと調べていって、各機器ですね、電球おそらく20ワット、40ワットでなく電力の少ない方だと思っておりますけども、12時間以上40ワットの電気を付けているところなんかはLEDに変えたほうが、3年間で電気代で器具の費用が削減できるということが実証済みなので、実際に行ったところもございまして。そういった形で環境に優しいというところでいくと、電気、水道、ガスなどを安くする取り組みをしています。あと、ごみの分別ですとか、そういったところ申請書に書かせていただいているところもございまして。

【委員】

質問8 利用者を増やすには、宣伝も大事なのですけども、それとは別に、施設をいかに綺麗に保つかですね。特に掃除ですよね。お手洗いなんかそのあたりはどう管

理していますか。

【株式会社東大阪スタジアム】

まず利用者が多いところといいますとトイレ、ひとり入ると汚れちゃうんですね、ただひとり入ったから、毎回掃除することもできないので、まず、定期的な時間帯に掃除する。それとプラス、スタッフが使ったときに清掃できる環境を整えておく、例えばタオルを置いておく、モップを置いておくというところで見つけた時に清掃するっていう形でトレイの方が綺麗な状態で保てる。実は、トイレの方、私どもの施設の中でも、電気のところにほこりがつきやすいんです。その部分の周りの銀色のところがくすんでいるだけでトイレがそんなに綺麗になくなってしまうのですね。その部分は、必ず月1回拭きなさい。高い位置にある場合なんかは長いふかふかの物でとったりする、あと気をつけているところはほこりですね。まず、エアコンのフィルター、こちらは業者さんだけに頼まれるところもあると思うのですが、私たちは自分達でします。ほこりを取るフィルターを外して取る、その中は業者で分解作業になりますのでできないですけども、あと換気扇ですね。ここの吸い込み口がどこかそんな発見できない、吸い込み口にほこりが見えるとやはり上からほこりが落ちてくるっていうことで不潔感を感じるので、まず上をきれいにする。あとは通常に感じられる清掃ですね、拭き掃除をしっかりするということが大切であると思っております。あと喫茶店の場合ですけど、玄関とかガラス面のところが汚れていたら、やはり汚いという印象を受けますので、特に銀色のところですね。そこがくすんでいないように拭いたあと、から拭きでしっかり綺麗にすることを心がけています。そういったところも持ったとき、掴めばもう汚れてしまうので絶対には言えないですけど、定期的できるだけ心配りをするように気をつけております。

【委員】

質問9 門真市民が主な利用者だと思いますが、市民のニーズに答えることも大事だと思ひ広報活動を幅広くされると、そして自主自業をたくさんされる、そのことによって、はじき出される利用者があるかと思うのですが、使用ができづらくなる、いつもテニスコートでは自主事業でいっぱいである、ノルディックウォークをされているので、野球の予約が取れない、そのことについてどうお考えですか。

【株式会社東大阪スタジアム】

冒頭にも申し上げましたように、最初、使っている現状の方を大切にしますので、その方たちに迷惑がかからないところに組み込んでいくのを考えております。それでいいのですかとなったときに、今、申し上げた教室も一杯になって利用者も一杯混雑してきたからどうしようと、私たち6施設あるのですけども、これうれしい悲鳴なの

ですね。たくさん来ていただいているので、そうなってくると、施設活用の方をいろいろ考えます。今ちょっと想定ができていないわけなのですけども、テニスコートあと運動広場がありますけども、使いたい方ができないことに対して、どのようにするのかということなのですけども、先ほど言ったカーディオテニスという種目がございます。テニスもやりたいなという方と、あとダイエット効果があるのですけどそちらなんか、ひとりのスタッフに20人ぐらい一緒にできる教室になっていますので、そういったところに入りましょうということで、1回の使用で、たくさんの方が使用できる種目を増やしていくような形でたくさん来ていただくような内容を考えていきたいと思っております。

【委員】

質問 野球をやりたいのに取れないという現状がでてくると思うのですが。

【株式会社東大阪スタジアム】

私ども、施設の方でやっているのが、体育館ですけど個人参加型バスケットというのを行っております。それは、日本経済新聞に取り上げられましたし、ひとりでバスケットができますよという形で募集して、今はもう20人を超えている状態ですね。バスケットは5人5人で、10人しかできないですね。普通は、それが20人集まって交代交代でしましょね、しかも、来た人をみんな集まってじゃんけんでチーム分け、それでゲームをする。その時間を共有しようという形をとっているんで、野球でもできるのであれば、9人9人がマックスなのですが、それをいろいろ交代制でできる、野球もできたらおもしろいかなと思うのです。

【委員】

質問10 申請書の中に、防犯・防災に対する対策について、基本計画に書いておられます。職員さんだけではなくて、利用者の方々にそういう意識というか啓蒙をしていく必要があると思いますが、そういう面について具体的な考えを教えてください。

【株式会社東大阪スタジアム】

最近でいえば、9月5日ですね、大阪880万人の携帯電話が鳴ったと思うのですけど、私ども指定管理施設の方で、今日の11時ですね、11時に鳴りますよ、と事前に告知しています。施設利用されている方に、すみませんとスタッフが行きまして、今日11時に皆さんの携帯が鳴るのですけど、御存じですか、知ってる、知らない、今回をいい機会として防災訓練をしてみませんか。実際、地震が来たということで、避難していただきたいというふうに10時半にやってきます。皆さんの協力をお願いします

ということで、当然職員の研修は、防災訓練としてお休みの日にやったりするのですが、利用者の方の防災になりました。地震になったらどこが危ないか、蛍光灯落ちてきますよ、どこに逃げたらいいですか、机の下に逃げてください。ここの部屋の中で、逃げるところはどこにあるでしょうか、ここです。ガラス面に近寄ったら割れるというお話をさせていただいたり、火事の場合はどこから逃げるか、どういう姿勢を取るか、そこで実際にさせていただきました。もし、門真市の方にそれらがあつた場合、雷が来た場合どこに逃げようとか、火事だったらそこなので問題はないと思うのですが、地震が来たらどこ行きましょうと、お話しをさせていただいて、一番大切なコミュニケーションからそういったことができる環境をこれから作っていききたいなと思っております。

【委員長】

では、お時間になりましたのでこれで審査を終了いたします。審査結果につきましては、11月の下旬頃に郵送で通知させていただきます。

《株式会社東大阪スタジアム 退室》

《かどまSSKグループ 入室》

【事務局】

それでは、審査の前に2点確認をさせていただきます。貴団体の役員等に本市の市長または議員は加わっていませんか。

【かどまSSKグループ】

おりません。

【事務局】

次に、貴団体の構成員に暴力団員または、暴力団員と密接な関係を有する者はいませんか。

【かどまSSKグループ】

おりません。

【事務局】

それでは、これよりプレゼンテーション審査を始めます。初めに、15分以内でプレゼンテーションを行ってください。終了1分前にベルを鳴らします。15分が経ち、タ

イマーが鳴りましたら直ちにプレゼンテーションを終了してください。その後、委員から質問を行いますので完結明瞭にお答えください。

なお、審査で発言された内容はすべて記録され貴団体の指定管理者としての施設の管理運営をしていただくにあたり、遵守すべき事項となりますので、御承知おきください。それではプレゼンテーションを始めてください。

《かどまSSKグループ プレゼンテーション審査》

(門真市情報公開条例第6条第2号の規定により不開示)

【委員長】

ありがとうございました。今から質疑応答に入ります。時間が限られており、委員も5名いますので1問につき3分程度で簡潔に回答をお願いしたいと思います。

【委員長】

質問1 今のお話しにもございました。この計画書の中にも、入っていますけども自主事業ですね。案を見ていると、テニスコートは現状プラスほぼ毎日のようにいろいろ行っていて、こういう自主事業についてですね、どのような形で門真の市民の皆さんに広報されてお客さんを集めようとするのか。集まってこられたお客さんに限られた場所ですね、テニスコート5面、グラウンドが一面、あとアウトスペースもそんなはないという中で、集まってこられたお客さんに快適さを味わっていただけてスポーツを楽しんでいただくということについて、どのような点に配慮されようとしているのかご説明をお願いします。

【かどまSSKグループ】

まず1つ目のご質問であります。広報の方法をについてご説明させていただきと思います。確か、この施設は専用のホームページが現在開設されていなかったように記憶しておりますが、これは間違いなく必ず作成させていただきます。そこで、イベントとか教室の告知をします。それからこれは、門真市様のご協力もお願いしたいところですが、なるべく広告宣伝費用を抑え、その分を市民サービスへの提供に回すためなるべく広報かどまの活用をさせていただければありがたいと考えております。あと、年に3回か4回程度はいわゆる新聞の折り込み広告チラシ等を使ったこれは比較的成本がかかる話ですが、定期的実施させていただきたいと思っておりますし、収支計画書につきましても、その分の一定額の予算は取っております。2つ目のスクールの運営方法はすみません、エイトコーポレーションの方からご説明いたします。

エイトコーポレーションです。テニス教室につきましては、現在、稼働率が高い門真テニスコートということなのですが、どうしてもオフィシャルでないスクールが展

開されているのではないかという点で課題があるというような認識がございまして、そちらの方を単に市民さんが例えば、5組10人が利用していたという想定でいくと、ひとコート、スクールを運営することでたくさんの市民の方、あとはお子様の方ですね、お子様であったり、いろんな企画で、今まで利用できなかった、そういう機会がなかった方に対して、アプローチができるのかということで、あくまで案になっておりますので、やはりお客様のニーズを測った上で実施回数は検討していきたいなということで考えてございまして、先ほどあったようなある程度よくなっていくイベントごとかから始まって、教室から始まってというような段階を追ってということですので、イベントでの反応やニーズも測りながら、自主事業についてしっかりと構築していきたいなと思っております、そちらの方は、あくまでも案になっておりますのでよろしく申し上げます。

【委員長】

質問 最後に質問した、いわゆるお客さんがコートに来られて、あるいは野球場の方も含めてですね、限られたスペースの中で、いかに快適に過ごしていただくか、そういった点について、何かご配慮をされること、例えば、駐車場等も含めてですね。

【かどまSSKグループ】

事業計画書の18ページから19ページのあたりをご覧ください。重箱の隅をつつくつもりはなかったのですが、それぞれ、左側が7月9日現地説明会当日のときに撮影させていただいた、各施設内いろいろな設備の写真でございます。右側はもちろん、これ新品に近い写真を使っていますのでまるっきりこのようになるというふうなことは、100%のお約束というのはいけませんけれども、少なくとも目につく部分、お客様が座ったり触られたりする部分で、それとか19ページの真ん中にコンクリートのひび割れの部分、これは非常に安全性にもかかわってきますので少なくとも、この写真を掲載させていただいた6カ所6点につきましては、指定管理者の費用でなるべく快適に御利用いただけるように、清潔な施設というのを目指して御利用者の方に、この施設の快適性というのを感じていただきたいというふうに考えております。以上です。

【委員】

質問2 広報の方法は今、お話があったようにホームページ、広報かどま、新聞の折り込みチラシ等々がメインだとおっしゃっていました。それ利用することによって、何が判るのか聞きたいのですが、テニスコートですのでテニスをしたい人が来るだろう、今、利用者はもちろんいるわけですから、おそらくそのまま残る方もいらっしゃるのでは、今と同じお客を取り込んで現状維持だけではないと、そこをどうするのかと

ということと、特に聞きたいのは、隣の運動広場のことで、バックネットがあつて明らかに野球を行ったらどうですかという形だと思ふのですが、計画書の方では、ノルディックウォーク、グラウンドゴルフさらにはスカイクロス、ペタンクといったところの名前があがっていて、それは門真市民が求めているニーズであるからそれをするのか、はたまたそうじゃなくて、何かお考えがあるのかというところ教えてください。

【かどまSSKグループ】

まず前半の広報の部分ですけれども、例えばチラシとかですね、いわゆるホームページ等々以外に特に、お金がかかる部分については、もともと事業計画書のどこかのページでお示しさせていただいたのですが、そもそも稼働率が高いので、施設全体の稼働率を上げようとする、やはり平日昼間の青少年運動広場、こちらの方の稼働率をいかにして向上させるかというところに我々共同事業体は着目しました。実際に平日の昼間土日は結構にぎわっていたようですが、平日の昼間は、たまたまかもしれませんけれども午前とか午後と過去5、6回行かせていただいたのですが、確かそんな中、実際使用されていたのは1回しかなかったように記憶をしております。つまりどちらかといいますと、特に最終的な目標というのは、介護予防なのですけれども高齢者の方に使用していただきたいというのが、その方法の目的になります。後半部分の方でいいますと、これはいろいろやってみてですが、実際、ノルディックウォーキングですとかグラウンドゴルフというのはここ5年ぐらいですごく競技人口が増えている、いわゆるそのニュースポーツといいますか、そのカテゴリーに入るかと思うのですけれども、全国で競技者が増えている、人気が出るってことはやはり何か、ご高齢者の方にご提供できるものがあるのだろうなというふうに我々は考えています。広報の方も、テニスの方はスクールですとか、先ほど招致するというふうに申し上げました、JPTAのスカウトキャラバンとか、そういうのも当然載せますけど、どちらかという運動広場を使った、空いていますので来てくださいという言い方がどうかわかりませんが、こういうメニューを御用意していますので、普段御利用の機会が少ない、特に高齢者の方来てくださいというのを主目的として広報は行おうというふうに考えております。

つけ加えになりますが、ニュースポーツの面でいいますと、関心表明書の部分で、SSKさんがテニスをされている、サンラッキーさんに当たっております。ニュースポーツの推進をされていまして、そちらの方のNPO法人も指導者の管理にされているという点もともと、門真市さんでも、いろんなことで展開されているだろう。それをもっと推進していきたいという思いもございますので、ニーズがどこにあるかというのは運営してみないと実際不明な点が多々あるかと思うので、先ほどあったとおり、どんどんチャレンジをしていってというふうな考え方で思っております。

【委員】

質問 今の確認で、かどまSSKグループさんとしては、ニーズがあるものに対してのみ提供していくということによろしいか。

【かどまSSKグループ】

実は、このニュースポーツというのは、特に高齢者向けにいろいろ考案されている。余り体力を使わないでしかもルールも簡単なスポーツということで実は今、名前が出ました、サンラッキーという専門メーカーはたくさんいろんな種類、世界中で考えられたゲームの商品を作っているのですが、どうしても屋内向けが多いのです。屋外となると、今申し上げましたノルディックがニュースポーツに入るかどうかは別にして、スカイクロスですとか、グラウンドゴルフですとか、ペタンクですとか、まずこういったものでスタートをしてみる。どんどん世界中で、ニュースポーツが屋外バージョンも含めて誕生していつていきますので、人気が出ないようであれば、言い方はちょっと語弊があるのですが、新しい種目もどんどん取り入れていけたらというふうに考えていました。ただ繰り返しになりますけど、ノルディックウォーキングとグラウンドゴルフというのは本当に、ここ5年間でもかなりの割合で全国的に普及されているということは、イコール御高齢者の方に興味を引く体力的にも負担を余りかけずに優しく興味を持って楽しく続けていただいている種目だというふうに考えていますのでこの2種目を前面に出しました。というのが我々の趣旨といいますか意図がございます。一応ニーズというよりやはりプログラム、そのスポーツがいいだろうということであれば思いを持って届けていきたい、ただ継続的に収益ありきではないのですが、続けていくための中では、ニーズを測っていかないといけないという点でのニーズの意味がありましたのでそちらの点もご配慮いただきたいと思います。

【委員】

質問3 収支計画書について、教えていただきたいのですが、5年間でどの年も支出よりも収入が少しずつですけれども上回るような計画を作っていただいて、これが、万が一思惑が外れてですね、ちょっと下回るような下振れるような状況なった場合にどう対処されるのかということと、逆に上振れて得られた利益収入はどのように使うか、何か案があれば具体的教えてください。

【かどまSSKグループ】

お答えいたします。万が一振れて赤字が続いた場合にこれは事業として健全とは言えないのですが、エスエスケイが代表企業ですのでエスエスケイが全額かぶります。それから上振れた場合ですけれども事業計画のどこかで当共同事業体の信念として安全はすべてに優先するというのを掲げておりますので、例えば、今までで

きていなかった修繕だとか、そういう方にお金を回していこうかと、その必要がない、それでもお金が余るという状況でしたら、例えば、イベントを招致して、年1回のイベントを、だいたい50万ぐらいかかるのですが、収支計画上もそれはちゃんと予算化しているのですけれども、この1回を2回に増やすとかそういった形の還元の仕方考えております。すみません、門真市民の方がそれで本当に喜んでいただいているかどうかというのは行ってみないとわからない自己満足の部分かもしれませんが、お金が余った場合はそういうふうに使いたいと考えております。以上です。

【委員】

質問4 今回の申請を出されるに当たって、施設の方をしっかりとご覧になって、修繕関係そして設備の維持管理の面で非常に細かく重箱の隅とおっしゃられましたとおり、チェックされていると思います。ここに挙がっている例で見ていきますと、テニスコートに関する項目、それから管理棟に関する項目のみ挙げていますけれども、運動広場に関する点であるとか、駐車場に関する点であるとか、もしここに載せていないが、まだ今後こういうところを対応していきたいという例があるならば教えてください。

【かどまSSKグループ】

お答えさせていただきます。すみません、重箱の隅をつついたのでありますが運広場の方は重箱の隅をつつきませんでしたか、つけませんでした。相当広い敷地ですのであえてこういう形で写真は撮りに行きませんでした。ただし、先ほど申し上げました安全はすべてに優先するというのが、我々のキャッチフレーズですので、例えば、どこかにささくれがあるとか、金具が錆びてむき出しになって、触ったら怪我しやすいとか、というところを発見したら重点的に、実際に収支計画の中でも毎年少なくとも30万円については支出の方で考えてはおります。そこを超えたらどうするのかというのはまだ今後考えていけないのですけれども、施設全体については、そのように考えております。以上です。一応自主事業の部分で言いますと、やはり運動場での種目ということですので、やはりグラウンド整備また環境というのが運営に入り、させてもらった段階で多分、判ってくる状態になるだろうというのと、野球場としてはできていますが、サッカーをお子さんに教室として提供したいという思いもありまして、その際は、内野の部分は基本的に使わないとかルール決めでしっかりとした上で、今もしっかり管理をされているかも知れませんが、それ以上のクオリティーをお出ししたいと思っております。

【委員】

質問5 スポーツ基本法が制定されて、市町村は、総合型地域スポーツクラブ

への支援を行うこととされているのですけれども、門真市では、門真はすねクラブが活躍されております。貴社の方でも、総合型地域スポーツクラブへの連携をどのように考えておられるのか教えていただけますか。

【かどまSSKグループ】

一応、連携につきましてはもちろんということなのですが、私自身がアシスタントマネージャーの資格を取得させていただいておまして、それをどう使うとかではなく、連携の中身、どういった総合型とのコラボでの組み合わせが可能かというところで勉強もさせていただいたという点がございまして、そこをフルに生かしてとは考えております。

【委員】

質問 具体的な提案というのは、今のところ。

【かどまSSKグループ】

具体的な提案としましては、あの場所の部分で特に、テニスコートは稼働率が高いので難しい部分が出てくるかと思うのですが、グラウンドの部分あとはそのほかいろんな事業をする際にいろんな資金ですね、施設の方は、地域支援としての場所の部分であったりとか、あと人の部分ですね、人の部分も出てくるかと思うので、そこに関しては、できる限りになってくるかと思うんですけども、エイトコーポレーションという立場としましては指導者を豊富に持っている部分になりますので、人材ですね、人の部分も提供したいと考えておりますし、施設のハードの部分も可能であればという点は思っております。具体的にどうかかわからないですけどもお願いします。

【委員】

質問6 先ほどから、プレゼンの方で高齢者のことをいろいろおっしゃっていたのですけれども、門真市では政策のキーワードとして、こども、女性、コンパクトシティということで、こども、女性を支持しているのですけれども、こども、女性を取り込む利用促進に当たって何か考えておられることがありますか。

【かどまSSKグループ】

これも、テニスの自主事業の部分になってきて、御提案したとおりできるかどうかというの、その稼働率との兼ね合いになってくるんですけども、具体的には、事業計画書 14 ページの比較的はまだ平日昼間だと、テニスコートの稼働率が常に100%という状態ではないのでこれも、1つの案なのですけれども、ウィークデーーナメントということで、平日お時間なのでここは一般の女性の方がメインターゲット

トになるのですけれども、ダブルスのトーナメントを開催したいというふうに考えております。あとは、その下の親子ふれあいテニス、こども、稼働率特にこれは日曜日を前提としているので、例えば既存の利用者方がどんなクレームという言い方をしているかわからないのですが、出てくるかわからないのですけれども、一応こういう形で親子参加型というこどもの心身と共にスポーツを通じて成長を促進するという観点から、こういったイベントをやっていきたいというふうに考えております。以上です。つけ加えて言いますとテニスにつきましては、テニス場メインで稼働率が高いので親子テニスなどということで、あとはサッカーの方、事業に関してはこどもの育成ですね、部分ではやりたいなという点と、あとは安全にお子様の頃からできる種目、スポーツでグラウンドで考えていくとやはり今、サッカーである。あとは、保護者を巻き込んだ親子のプログラムを実施した場合に、やはりお母さん、女性の方がしっかり絡んでいただくという点で、こどもと女性という点はそこでしっかり努力していきたいと考えております。

【委員長】

質問7 このプレゼンで、JPTAのいろんな話しの中で、ジュニアトーナメントをやるという計画があったのですが、今つかんでおられる範囲でいいんですけれども門真でそういったトーナメントに出てくる選手の数はおよそどのぐらいいますか。

【かどまSSKグループ】

それは、市内在住という意味ですか、と言うのはですね、今、キャラバンの方は大体どこのテニスコートでも行っていて平均40~50名ぐらいなんですね。事業計画書の中にも示していますけれども、あくまでメインの目的は、JPTAへの次世代のプロテニスプレーヤーの発掘がメインになるので、いわゆる広報としては、ある程度関西一円に近い部分を対象に、ただし例えば、広報かどまですとか、あとは、施設内の告知によって頻繁にご利用されている市民の方には先に知ってもらう点で、その40人から50人の中で実際にその市内在住の方が何人来るのというご質問になると実は、答えにくいのが地理的な問題ですね。いわゆるやっぱり、門真市の本流という言い方は悪いかもしれませんが、やはり門真といえば、京阪沿線で車を使わないという前提になると鶴見緑地線の方の終点になるので、ある程度大阪市民が参加してくるというのは避けられないというふうに考えております。

【委員長】

では、時間が来ましたのでこれで審査を終了いたします。審査結果につきましては、11月の下旬頃に郵送で通知させていただきます。

《かどまSSKグループ 退室》

《奥アンツーカ株式会社 入室》

【事務局】

それでは、審査の前に2点確認をさせていただきます。貴団体の役員等に本市の市長または議員は加わっていませんか。

【奥アンツーカ株式会社】

加わっておりません。

【事務局】

次に、貴団体の構成員に暴力団員または、暴力団員と密接な関係を有するものはいませんか。

【奥アンツーカ株式会社】

おりません。

【事務局】

それでは、これよりプレゼンテーションの審査を始めます。初めに15分以内でプレゼンテーションを行ってください。終了1分前にベルを鳴らします。15分が立ちタイマーが鳴りましたら直ちにプレゼンテーションを終了してください。その後、委員から質問を行いますので簡潔明瞭にお答えください。

なお、審査で発言された内容はすべて記録され貴団体が指定管理者として施設の管理運営をしていただくにあたり、遵守すべき事項となりますので、御承知おきください。それではプレゼンテーションを始めてください。

《奥アンツーカ株式会社 プレゼンテーション審査》
(門真市情報公開条例第6条第2号の規定により不開示)

【委員長】

ありがとうございました。今から質疑応答に入ります。時間が限られており、委員も5名いますので1問につき3分程度で簡潔に回答をお願いしたいと思います。

【委員長】

質問1 私の方から質問させていただきます。今このスライドでもパンフレットでも書いております、資料の中に自主事業ということで、いわゆる利用率の低い時間帯の夕方ですね、中学生のクラブ活動を利用させるという話がございましたけども、テニス硬式と軟式かソフトテニスと2つありますね、そのあたりの対応と中学生がこちらに来るとなると、どのような移動のイメージ、あるいはこっちに来たあとの対応ですね、さっきおっしゃったように駐車場の数が少ないとかいう中で、そういう中学生はどういう移動をしてくるかということ想定されているとか、そのあたりをお願いしたいんですけど。

【奥アンツーカ株式会社】

実際ですね。中学生のテニス大会なども当施設で行われております。その際はですね、皆さん顧問の方が付き添い、自転車等で来られまして、ほぼ自転車で来られるので、駐車場を駐輪場という扱いにして、我々職員等警備員が1名ついて自転車の整理をしていくというような形で、実際のテニス大会のときにはしております。そのようなイメージで放課後もできるのではないかとこのように考えております。

【委員長】

質問 放課後の平日も警備員がついていただけるとのことですね。

【奥アンツーカ株式会社】

そこまで対応しなくても職員でも何とかできるのではないかなと、場合によってそれも無理であれば警備員を入れて行っていくのもいいかなと思っております。

【委員長】

質問 だいたい数としてどのぐらいを想定されていますかね。その中学生を空いている時間帯ですね、夕方のこちらのコートの方を使うということについては、その総数はどのぐらいを想定されてこのプランを作られたか教えてください。

【奥アンツーカ株式会社】

全部でコート数が5面しかないので、一応3面ぐらいで5面といってもほぼその時間帯は空いていますので、利用者がいても1面とか場合によって何人とかという形で、一応その枠は空けておく形で、3面をそういうクラブ活動に開放できればいいかなと思っております。

【委員長】

質問 人数的な想定はされていないということですか。

【奥アンツーカ株式会社】

人数は、今の大会のときでもそうなのですけれども、かなりあふれて、コートの中は試合の時しか入れないので、ダブルスでしたら4人とか決まっているのですけれども、隣の駐車場で皆さん待機されているようなイメージで、クラブ活動ですとコートの中に入ってコーチの方が球出しして、それを並んでいて順番にローテーションしながら打っていくというようなイメージで考えております。

【委員】

質問2 質問させていただきます。いただいている申請書類の計画書の方で、潜在的スポーツ愛好者の利用を増やすというふうに明記されておるのですが、非常にいいことかなど、要するに今、既にテニスをされている、野球をされている、ソフトボールをされている方はおそらく、この施設を利用したことがあって、これまでどおり利用されるだろうと、それまでは去年や一昨年と同じようになってもしくは、利用者が減ってくるという可能性があると思います。そこでこういう提案が出たかと思うのですが、ではどのように家でスポーツをしたいと思っているけれども、まだスポーツしていないのだよという人を掘り起こしてくるのか、それがもしイベントをすることによって、その人たちを表に出すのだということであるならば、どういうイベントがあるのか、そのあたりを細かく具体的に教えていただけますか。

【奥アンツーカ株式会社】

先ほども、ご説明させていただいたのですけれども、テニスコートとグラウンドしかないのですが、テニスコートのほうで常時スクールをやっている時は体験などを受け入れる体制を取りたいと思っております。

【委員】

質問 体験というのは、テニスをやりたいと思っている方ですよ。

【奥アンツーカ株式会社】

まあ大体思っている方がいますし、イベントなんかですと無料とかあります、その時ファミリーとか来てもらって楽しんでもらったりそういった形のものにしていきたいなと思っております。

【委員】

質問 具体的に聞きたいのは、スポーツをした方がいいということは知っている、でもちょっと出て行こうという人は多いですね、行こうとする人が、その人をどのように引っぱり出すのか、興味があるのだよという人は多分来るのですよ、そうじゃなくてどうやって、おっしゃられている潜在的スポーツ愛好者の利用を増やすのかということの対策をお伺いしたいのですが。

【奥アンツーカ株式会社】

対策、周知していることを知られないとその方にも伝わらないので、まずホームページであるとか、イベントであるとか、広報かどま等を活用して、こういうことがありますよ、こういうイベントをしますよ、ということで広く市民にお知らせをしたいと思っております。幸いなことに、市民プラザの方の指定管理者をさせていただいております。あちらにもスポーツ施設があるんですけども、スポーツ以外にも文化的な活動をされる方もたくさん来られます。そういう方に対してやはり、スポーツ以外で来られる方に対しても、そこでチラシを配布するなりポスターを掲示するなりしているんなお知らせもできると思います。あとスポーツ以外の例えば、朝市であるとかというイベントも毎月行っております。ほんとにお子さんからお年寄りまでたくさん来られますのでそういうところで、このPRするとか実際にそういうところに出かけて行って、テニス体験を簡易にできますのでやってみるとかですね、気軽に何を行っているのかなという感じで見ていただけるといいような、活動をしていきたいと思っております。

【委員】

質問3 事業収支の方について、お伺いしたいのですが、5年間で収支とんとんで収入も支出もわからないということ、計画を立てておられますが収入の方を見ますと、自主事業からの収入という評価項目が無いなど見ていたのですが、これはボランティアだからゼロと考えていいのかどうか、これがひとつ、計画立てていただいて万が一利用者が減って思惑どおり行かない下振れた場合、どういう対処を考えておられるかがふたつ、最後は逆に上振れた時、収入が上回った時、資金をどのように使われるかお聞きしたいのですが。

【奥アンツーカ株式会社】

まず、1点目の自主事業の収支がここに計上されてないということによろしいですか。もともと今回の募集要項の中でも自主事業にかかわるものは別途ということで要するに指定管理料に含まないと書かれておりましてここでは計上しておりません。

【委員】

質問 ということは、いろいろテニススクールとか小学校に行ったり、高校に行ったり、読んでいるとボランティアの言葉がたくさん出てくるのですが。

【奥アンツーカ株式会社】

どこから捻出するということですか。例えばですね、テニススクール等は多額ではありませんが、ある程度収益が得られると見込んでおります。そのあたりの収益が得られるものでやることによって、そういうボランティアに係る人件費等が捻出できるのではないかなと思っておりますので、一応ここに挙げておりませんが、自主事業の収支についても、プラスマイナスゼロを目指しております。2点目よろしいですか。思惑どおりにいかなかった場合どうするのだというご質問ですけども、その場合は我々の5年間で、こういう提案しておりますのでその辺のことも十分含めて考えた上で、会社として臨んでおりますので、マイナスが出た場合は、弊社の方で補填するという形を取りますが、そうならないようにこの3年間いろんな事情も把握してきましたので、だいたいもう先を見越して計画しております。非常に冒険をしているわけではありません。そういう意味でそういうことがまずないと言えらると思いますのでご安心いただきたいと思います。3点目の利益が上回った場合ですね、先ほど言いましたように非常に厳しい予算で、厳しいというかできる予算ですけども非常に抑えた形でご提案しております。大きく上回った収益がまず得られるとは考えられないです。先ほど言いました自主事業と同じで大きな利益が得られる場合は、もっといろんな展開が自主事業としてできると思います。そういうスポーツの振興活動ですね、そちらの方に費用を使っていきたい、もしくは施設が非常に老朽化しています、我々でもできる範囲の修繕であれば、そういう所も費用を使ってやっていきたいと思います。このあたりが門真市さんとこれからの協議になるのかと思います。

【委員】

質問4 現在ですね、御社がこの該当施設の指定管理を請け負われているという立場上、申請書類を作られるのにも、ちょっとご苦労されたと思うのですが、施設はもう設立創設されて16年が経ち、あちこち傷んでいるということで、今回、他の申請者の方々からすると、施設の維持管理面であるとか、美化面であるとか、こうしたところの改善が必要だという提案が結構具体的に上がっていたのです。奥アンツーカさんが今ここで上げてしまうと何をやっているのかとなりますので、なかなかこういうところでは話しにくいかもしれませんが、具体的に今後こういうところの修繕が既に必要であると、美化面については今後やっていきたいとあるならば教えていただきたい。

【奥アンツーカ株式会社】

かなり施設が老朽化している部分も実際あります。保守点検が必要なところは早めに点検費用とか掛かるのですけれども、することによって施設を長く維持できるのじゃないかということで、この3年間はとってきました。どうしても、テニスコートであるとかそういう経年劣化で擦り減っていくというのは、どうしても寿命というものがあるので、それはしょうがないのかなと思っているのですが、それで毎月1回ぐらいは砂をまいたりして適度に滑らせていくように行って、なるべく寿命を延すような形で実施しております。

【委員】

質問 今ある現状において、そこは早急に取りかからないと、と把握しておられるところがないと。

【奥アンツーカ株式会社】

あまり大きな部分はないのですが、やはりグラウンドの方の痛みが、非常に利用頻度が高いものですから、そろそろ改修といいますか、手を加えた方がいいのかなというのが、思いであります。それから、テニスコートの方でまず管理棟の方なのですが、更衣室内の水洗で細かい話なのですが、トイレの水洗であるとかシャワーであるとかいうところが、そろそろいろんな不具合が出て来ておまして、それは今、業者に見積りを取って、早く対応しようとしておりますが、そういった設備関係の不具合というのが結構頻繁に起こっています。それとテニスコートの方なのですが、平成22年に張り替えていただいているのですが、もう4年経っております。この次の5年間の指定管理期間の中では、やっぱり部分補修っていうのが出てくるのではないかと、特に、あのベースラインの部分というのが一番先に傷みますので、少なくともそのあたりの部分張り替えみたいなこともこの5年間で出てくるのかなというふうに考えております。

【委員】

質問5 提案の中でもあったと思うのですがけれども、総合型地域スポーツクラブへの支援ですね、書いておられるのですがけれども、具体的にどのようなことを考えておられるのか教えていただきたい。

【奥アンツーカ株式会社】

先ほど、プレゼンで示しました豊中市の場合も、総合型地域スポーツクラブさんと一緒にやられたわけなのですが、今市民プラザの方では、パートナーシッププラ

ンというものに則って、自主事業展開し得る形になっておりますがほとんどは、はすねクラブさんがやっている事業に弊社がご協力させていただいている形になっていきます。今回は、テニスコートをとということです、この次の展開としては、はすねクラブさんと一緒にテニスの普及をやっていけたらなというふうに考えております。特にやりたいのは子ども、幼稚園児、保育園児それから、小学生を対象にして、市立テニスコートで行うのもよし、市民プラザの体育館を使うのもよしと今は考えています。

【委員】

質問6 先ほど中学校、高校のクラブへの支援ということでいろいろ教えてもらったのですけれども、これ実際にどこかでやったことがあるとか、そういう実績みたいなものがあるのですか。もしこれから始められるのであればどのようなアプローチで中学校、高校へしていこうと考えておられるのか教えていただきたい。

【奥アンツーカ株式会社】

そうですね。正直、正式な形で中高へアプローチをしてご提案させていただいたものは、今までやったことはありません。ただほかの施設でテニスコートがある施設なのですけれども、そこによくクラブ活動の練習に来られる学校がありました。そういうところを見ていると先生の指導力が非常に乏しいということで、見ても非常に子どもたちが遊んでいる状態でのクラブ活動でしたので、そういうところにちょっと先生と懇意にしていましたので、ちょっと30分だけテニスしましょうかみたいな形で気軽に声かけて、うちでさせてもらったりということはやったことはあります。そういうことがありましたので、我々は今4名のテニススクール指導者を社員で抱えております。彼らが、このような形のものはできるのではないかと考えております。ただ、今ご指摘がありましたように、そのアプローチの仕方ですね。そのあたりについては正直、今後検討としていかなきゃいけないのかなと思っております。

【委員】

質問7 利用者を増やすには、チラシを配ったりと宣伝が大切なのですが、施設をいかに清潔に保つかということも大事だと思うのです。具体的にどういうふうに管理されているのか、特にお手洗いの現状、今後どうしていくのかを教えてください。

【奥アンツーカ株式会社】

毎日出る施設の職員が、自分達で今のところ掃除とかはしています。

【委員】

質問 それは定期的にですか。

【奥アンツーカ株式会社】

毎日であります。1日にとりあえず朝と晩はするように、利用者の多い土日などの場合は間の時にするように指導したりしています。

【委員】

質問 特に汚れた場合、外部の業者を使っているわけでないので皆さんで対応できるということですね。

【奥アンツーカ株式会社】

トイレは非常に小さいですし、更衣室も非常に小さく業者を呼ぶということは1回だけありましたけれども、今のところ通常は職員で対応しております。

【委員】

質問8 先ほどお話しがあったのですが、中・高校生の方に出向いて行かれる、もちろん社員、スタッフの教育というか、接客接遇をされていると思うのですが、こういう生徒なんかを対象にするというスタッフについては、もちろん教員免許を所有されている前提になるのでしょうか。

【奥アンツーカ株式会社】

そうですね。我々のスタッフが指導させてもらうのはどちらかというと、教員免許は特に取得してないと考えております。指導するのは、ほんとにテニスの技術の部分だけになっていくと思いますので、あとケアとかその辺りですので、特に今はそういう資格は必要でないのではないかなと考えているのですが。

【委員】

質問 奥アンツーカさんとしては、テニスというスポーツに対してただ生涯スポーツなんかも含めて技術のバックアップのみを考えて中学や高校にスタッフやテニスコートの貸し出しをされるというお考えでよろしいでしょうか。

【奥アンツーカ株式会社】

そうですね。それは、どういうほかに例えば、礼儀作法であったり、というスポーツも含めてのことですか。

【委員】

質問 スポーツというのは、スキルアップ向上のみをお考えになっていないというところですか。

【奥アンツーカ株式会社】

そのあたりは、もう本当に学校の先生等との相談になるのかなと思います。私ども、今抱えている社員、コーチは皆大学まで競技でテニスしたもので学園なんかで揉まれていろんな上下の関係であるとか、マナーであるとかというのも非常によく、今まで経験している人間ですので、そういった意味ではそれらが経験したようなことについては、いろいろ指導はできると思いますがその辺はもう先生との相談かなと思います。

【委員】

質問 教員免許をお持ちでなくても、例えば、日本テニス協会の発行するような日体研の資格をお持ちだとか、日本プロテニス協会とかの資格をお持ちとか、もしそれがないにしても、例えば、今スポーツはもちろんドーピングなんかも含めてセクハラなんかもありますので、法律のお勉強をされていると、そのような研修もされているのか、もしくはされる予定なのかを教えてください。

【奥アンツーカ株式会社】

そうですね。まず資格の方なのですが、今、先に取りらせているのはジュニアスポーツの指導員の資格、日体協の資格なのですが、それを先に取りらせていくようにしています。

【委員】

質問 テニスと関係なしに。

【奥アンツーカ株式会社】

全般です。だから、ジュニアスポーツ全般についてかかわれるような講義を受け資格をとることをまず一貫しています。その次に、テニス指導員、テニスコーチという資格もありますので、それを次に取らせていこうかなと考えていますが、そこまではいつておりません。それから、研修の方につきましては、社内でそういうスポーツに詳しい弁護士の方を呼んで研修会など、今年の1月にやりました。いろんなレッスン中のリスクであったりとか、施設間リスクであったりというのが、いろいろ例を出していただいて、弁護士の先生に説明していただいたということもしました。あと、関西テニス協会と非常にちょっと懇意にさせていただいております、そういう大阪府選手

権もそうなのですけれども協会主催で行っている研修会もたくさんあります。そういったものにも積極的に参加するようにさせております。

【委員長】

質問9 中学生のことでこだわりますけど、今の話を聞いていると、夕方に指導者が来たら教えましょうかということですか、それとも大々的に門真の市教委とタイアップされて、中学生向けに部活動でコートを使用する場合は、減額措置を講じて使用しますからどうぞ使ってくださいというふうなイメージなのかどちらですか。

【奥アンツーカ株式会社】

今は、両方とも考えております。それは、その学校さんとの話しになると思うのですけれども、コートだけ貸してくださいというところには、コートを提供して、指導もお願いしますというのであればコーチがついて球出ししたり、先ほど言った技術的なポイントであるとか、そういうことはやっていきたいと思っております。

【委員長】

質問 それは料金的な問題は、例えばいろんな条例関係とかあるいは、中学校とのコンタクトと当然教育委員会の担当者と調整した上ということになるのですけれども、そういう形で考えていいのですか。

【奥アンツーカ株式会社】

そうですね。

【委員長】

質問 非常にこの細かいことで申し上げないですが、この企画書を見せていただいたときに施設利用について、アンケートを取るということ書いておられた、そんな中で一般利用者に毎年1回ぐらい取ると、教室の人には年2回取ると、これなぜ回数が違うのですか、一般利用と教室利用の方のアンケートの回数。

【奥アンツーカ株式会社】

一緒にしてもいいのですけれども、一般利用者の方がすごく数が多いです。取る期間がやはり長くなってしまいます。スクールですと1週間で一回りするのですがそれでお休みがいなければ回収できるのですけど、一般ですと一月位のスパンを最低見て取るような形で実施しております。

【委員長】

ではこれで審査を終了いたします。審査結果につきましては、11月下旬頃に郵送でさせていただきます。

《奥アンツーカ株式会社 退室》

《休憩および集計》

【委員長】

それでは委員会を再開いたします。まず集計結果につきまして事務局から報告をお願いします。

【事務局】

それでは集計結果について報告します。集計結果は第1次審査と第2次審査を合わせた得点をご報告します。

第1位は、奥アンツーカ株式会社 1,139点です。

第2位は、かどまSSKグループで 1,017点です。

第3位は、株式会社東大阪スタジアムで 940点です。

以上、集計結果の報告を終わります。

【委員長】

では続きまして、この結果を受けた総合評価に移らせていただきます。第1次書類審査及び第2次プレゼンテーション審査を通しまして、委員の皆さんから評価選定に関してご意見を伺いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

【委員】

妥当だなと、今年までの経験がありますので、それを踏まえた上でこの1年、2年かけて今よりさらに改善していただけるという期待が持てますので、奥アンツーカで妥当ではないかなと考えております。

【委員】

一次審査を除いても、2次審査だけ見ても奥アンツーカが50点以上、上回っていますし、一番門真のことを考えた提案ができていたと思いますので、奥アンツーカで異論はありません。

【委員】

各社ともにいろいろ工夫をされた提案をされたと思うのですが、やはり、現状に一番即して、具体的にかつ現実的な提案をされたというのは、奥アンツーカかなという感じがいたします。ですからこの結果については妥当な結果だと思います。

【委員】

総合結果で妥当なのかなというふうに考えています。現在も指定管理を行っておられまして、現状も理解されて3年間やっておられましたので、今回の提案書、プレゼンテーションも一番丁寧にご提案していただいているのかなと、また新しい提案の中学校、高校との連携についても今後を期待していきたいなと考えております。

【委員長】

私も皆様方と結果的に同じなのです。市民のグラウンドであり市民のテニスコートでありますので、よりそこに近づいていく、市民のスポーツニーズを掘り起こす、あるいは市民のスポーツ熱をさらに高めるといふ、そういった形のものが、どんな形で出てくるかなというふうにして、今日、具体的なお話をお聞きしたのですが、奥アンツーカの方は実績も踏まえて今後に向けて新しい提案も出したので、ただこれを実行していく中で委員からも少しありましたけれども関係団体ですね、特に教育委員会とはいろんな連携の中で未来を担う中学生なんかもスポーツ熱が高まっているか、さらにそのテニスコートを1つの基盤として、グラウンド関係あるいはそのほかに向かってもですね、広がっていただけて、スポーツで門真を元気にしようというといったことが推進できればというふうな期待を込めて、私もこの結果で異論はございませんのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

【委員長】

では、第1次審査と第2次審査の合計得点と皆様のご意見を集約いただいたということで指定管理者候補者の順位を、第1位が奥アンツーカ株式会社、第2位がかどまSSKグループと決定したいと思ひます。これによりまして指定管理者候補者は奥アンツーカ株式会社とし、もし、この団体が指定管理者に指定するのに著しく不適當な事由が生じた場合は第2位のかどまSSKグループを指定管理者の候補者としますが、それでよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

【委員長】

それでは以上のおり教育委員会に答申を行うことと決定します。最後に今後のこ

とについて事務局より説明をお願いします。

【事務局】

それでは、今後のことなどについてご説明させていただきます。まず指定管理者候補者を指定管理者として決定されるまでの手続についてご説明します。

本日の総合評価により指定管理者候補者として選定された団体を、10月31日に開催されます、門真市教育委員会に議決案件として上程し、議決を求めます。可決されましたら、申請団体に対して選定の通知を郵送により発送するとともに12月下旬に開催されます平成26年門真市議会第4回定例会に上程し、議決を求めます。この議会での可決をもって候補者は指定管理者として決定されます。委員の皆様におかれましては、門真市教育委員会に上程される10月下旬までは、審査の結果について口外されませんようお願いいたします。

次に会議録の公開について、門真市教育委員会で指定管理者の候補者が議決されたのちに公開したいと考えておりますので、今後、ご発言の個所の確認をお願いいたします。

【委員長】

ただいま事務局より今後のことなどについて説明がございましたがご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。よろしいですか。

(異議なしの声あり)

【委員長】

以上をもちまして、第2回門真市立テニスコート及び門真市立青少年運動広場指定管理者候補者選定委員会を閉会いたします。

【事務局】

本日は大変お忙しい中、貴重なお時間を割いていただきまして、門真市立テニスコート及び門真市立性青少年運動広場にふさわしい指定管理者候補者を選定していただきましたことを事務局一同心から感謝を申し上げます。2度にわたる慎重な審査、誠にありがとうございました。